

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域特性に配慮した住民主導型土砂災害警戒避難体制づくり
事業主体 (連絡先)	千曲市 総務部 危機管理防災課 防災係 (026-273-1111 内線: 5251)
事業区分	4 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	395,810 円 (うち支援金: 316,000 円)

事業内容

土砂災害警戒区域等が存在する城腰自治会において、10月実施の土砂災害に関する知識を養う講演会に始まり、該当地域内の危険箇所や地形特性の現地踏査を得て、住民懇談会を開催した。住民懇談会では、住民自らで過去の災害などを基に地域の危険箇所や避難場所等を確認し、自主避難基準を検討したうえで地域の防災マップを作成した。

- ・講演会 1回
- ・現地踏査 1回
- ・住民懇談会 3回
- ・マップ校正 1回
- それぞれ約60名参加



【住民懇談会】

事業効果

- ①講演会や現地踏査、過去の災害経験の確認等を経て図上へ落とし込むことにより、住民の間で危険箇所の確認と共有ができた。
- ②雨量情報等を基にした地区独自の自主避難基準の作成や災害時に比較的安全と思われる避難経路を確認し、避難場所を設定することで、危険を感じたら自治会長を筆頭に住民が自主的に避難できる体制が整備できた。

- ①地区内の危険箇所を再確認する。
- ②行政の避難勧告を待たずに、危険を感じたら自主避難できる体制を構築する。

【目標・ねらい】

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

作成した防災マップは、毎年の防災訓練等で随時活用・確認し、地域独自の警戒避難体制の見直しを行っていく。また、今後の災害時にも運用していく中でも内容の確認を行い、必要に応じて見直しを行っていく。

※自己評価 【B】

【理由】

- ・ねらいどおり自主避難のための体制構築ができた。
- ・実際の災害や訓練の中で作成した基準や体制を見直し、実効性を高めていく必要がある。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある